

# 昭和57年度理事会議題一覧

昭和57年10月16日

## I 東部総務担当理事の交替について

## II 総務関係

1. 58年度副会長候補者の選出
2. 新入会員審議の件 [配布資料1] 新入会員名簿
3. 退会会員の件 [ " 2 ] 退会会員名簿
4. 58年度大会開催校について [ " 3 ] 賛助会員名簿

## III 機関誌関係

1. 刊行状況の報告 [配布資料4] [季刊理論経済学]刊行状況
2. その他

## IV 渉外関係

1. 国際会議派遣候補者推薦の件
2. 文部省科学研究費審査委員の件
3. 経済科学研究連絡委員推薦の件
4. 統計学研究連絡委員会の件 (説明者 畠中道雄委員)
5. 日本経済学会連合関係の報告事項

## V 経理関係

1. 56年度決算報告 [配布資料5] 56年度決算書
2. 58年度予算案審議 [ " 6 ] 58年度予算案
- [ " 7 ] 機関誌定価の改訂について
- [ " 8 ] 収支の推移と見込
- [ " 9 ] 会費納入状況

## VI 機関誌問題検討小委員会答申について (説明者 藤野委員長)

[配布資料10] 機関誌問題検討小委員会答申

## VII その他

理論・計量経済学会理事氏名

(1981年4月1日~1984年3月31日)

欠青木昌彦	出足立英之	樽見博	欠安部一成
出天野明弘	出坂田経夫	欠石弘光	入伊東光晴
欠大熊一郎	出大田明二	出山道広	欠岡本哲治
欠奥口孝二	出小野旭	出塚啓明	欠兼光秀郎
川口弘	出久我清	出泉進	出佐和隆光
塩野谷祐一	出由井孝昌	欠新開陽一	欠杉浦一平
出伊達邦春	出時子山和彦	出新野幸次郎	西川俊作
出根岸隆	出芳賀半次郎	出浜田宏一	速水佑次郎
出藤井栄一	欠水野正一	出村田安雄	出森田成美
欠安井修二	出山崎良也	欠山田浩之	出和田貞夫

(50音順 \*再選理事)

欠会長 内田 忠夫

議事説明者

出島中道雄 (総研連)

出副会長 小宮 隆太郎

出黒田昌裕 ( )

出藤野正三郎 (機関誌)

出南條校 1名

常任理事

(東部)

(西部)

総務担当	<del>根岸 隆</del> 浜田 宏	久我 清
渉外担当	大山 道広	天野 明弘
会計担当	小野 旭	水野 正一

出席 28名

欠席 17名

未定 1名

【総務関係】

(理事会・総会の議事録作成をお願いします)

※ 東部総務担当常任理事の交替について (議長より)

1. 58年度副会長候補者の選出

\* 開票結果添付

2. 新入会員審議の件

[配布資料1] 新入会員名簿

\* 申込書<写>を別添

\* 当日受付分は京都産大の担当者からお受けとり下さい

\* 当日受付分の申込書は後日、事務局へお届け下さい

3. 退会会員の件

[配布資料2] 退会会員名簿

[ " 3] 賛助会員名簿

\* 退会理由等の<写>を別添

4. 58年度大会開催校について

\* 参考資料……過去の開催校一覧

5. その他

《総会について》

\* 副会長候補者の氏名を掲示するため、理事会終了後に、開催校の担当者にご連絡下さい。

\* 総会での配布資料は、理事会資料のうち[1][5][6]です。開催校へ届け済みです。

## 昭和58年度副会長候補者

新 用 陽 一

建 元 正 弘

辻 村 江 太 郎

根 岸 隆

藤 野 正 三 郎

村 上 泰 亮

(五十音順)

昭和57年度新入会員名簿

理論・計量経済学会

氏名	所属	推薦者	氏名	所属	推薦者
朝日 讓治	豊橋技術科学大	小宮隆太郎 浜田宏一	萩原 泰治		置塩信雄 斎藤光雄
荒井 一博	一橋大学	宮沢健一 小野 旭	長谷部秀孝	創価大学	江見康一 石 弘光
井草 清志		中内恒夫 永田 良	馬場 義久	関東学院大学	江見康一 石 弘光
井沢 裕司	大阪大学	小泉 進 建元正弘	原山 広之	明治大学	池田一新 星見常吉
稲葉 敏夫	麻布大学	大石泰彦 大和瀬達二	坂 直樹	早稲田大学	伊達邦春 黒岩和夫
井上 正	愛知学院大学	斎藤 昊 手塚公登	日向野幹也	東京大学	浜田宏一 落合仁司
碓氷 尊	筑波大学	穴戸駿太郎 福地崇生	平山 健二郎	大阪大学	建元正弘 本間正明
大西 広	京都大学	佐和隆光 森棟公夫	枇把木賢生	国際商科大学	豊田利久 三辺誠夫
小川 智弘	慶応義塾大学	千種義人 富田重夫	益村 真知子	中央大学	吉村二郎 丸尾直美
小野 宏哉	東京工業大学	華山 謙 浦谷 規	宮下 洋	京都大学	片岡佑作 森棟公夫
金丸 哲	鹿児島大学	武野秀樹 山崎良也	水野 勝之	早稲田大学	金子敬生 大和瀬達二
金子 隆	慶応義塾大学	大熊一郎 田村 茂	村田 治	関西学院大学	森本好則 安井修二
金子 亨	労働金庫	中山靖夫 張 為国	矢野 誠也	関東学園大学	楠田 義 小沼博義
釜 国男	三菱総合研究所	内田忠夫 貝塚啓明	山田 雅俊	名古屋市立大学	斎藤 慎 本間正明
川島 康男	明治学院大学	大山道広 川又邦雄	吉井 紀夫	神戸大学	足立英之 置塩信雄
川村 裕志	国際基督教大学	石渡 茂 村上聡子	若井 具宜	徳山大学	中谷孝久 菅 寿一
近藤 学	滋賀大学	置塩信雄 玉木兵乗	若杉 隆平	通商産業省	浅子和美 大塚啓二郎
今野 秀洋	通商産業省	嘉治元郎 室田泰弘	渡辺 禎子		神谷伝造 宇佐美昇朗
笹山 茂	熊本商科大学	高瀬泰之 田中利彦			(51名)
沢木 勝茂	南山大学	成生達彦 小島亨孝			
下田 憲雄	関西学院大学	森本好則 安井修二			
須賀 晃一	一橋大学	荒憲治郎 時子山和彦			
菅原 晴之	長崎大学	塩野谷祐一 富樫光隆			
鈴木 俊雄	早稲田大学	伊達邦春 尾崎 巖			
塚本 弥八郎	東京工業大学	青木正直 増山幸一			
続橋 孝行	成城大学	松坂兵三郎 小沢健市			
鳥居 昭夫	東京大学	植草 益 根岸 隆			
中野 唯夫	神戸商科大学	上河泰男 保坂直達			
夏木 嘉彦		伊賀一人 千種義人			
西島 益幸	東京大学	浜田宏一 石川経夫			
西田 卓馬	経済企画庁	佐藤英人 岩田一政			
根本 二郎	名古屋大学	木下宗七 奥野信宏			
野村 誠	経済企画庁	岩田一政 徳永芳郎			
野村 益夫	神戸商科大学	上河泰男 江川育志			

昭和57年度退会者名簿  
(57.10.13 現在)

理論・計量経済学会

氏名	所属	退会事由
浦谷 孝 彥	道立十勝農業試験場	本人の希望による
加藤 良 雄	関西経済研究センター	
神谷 芳 雄	愛知大	
菊田 健 作	富山大	
工藤 裕 孝	福岡大	
小林 英 三	シェル石油	
貞 広 彰	経済企画庁	
沢田 収二郎	福岡大	
戸田 正 雄	日本大	
豊崎 稔	竜谷大	
長峰 純 一	横浜国大	
成瀬 光 明	日本銀行	
馬場 吉 行	京都学園大	
斎藤 正	成城大	
中谷 実	京都学園大	(S.57.4.20)
山田 一 雄	京都学園大	(S.56.8.)

氏名	所属	退会事由
赤羽 豊治郎	早稲田大	会費三年間未納による  (57.10.14. 納入)
小田 正 雄	関西大	
鈴木 幾多郎	桃山学院大	
タン・ヴィー・ホン	慶応大	
<del>当間 清 光</del>	<del>琉球大</del>	
畑井 義 隆	明治学院大	
平岡 規 正	西南学院大	
星 克 治	三井東圧化学	
村上 恒 夫	立正大	
山川 義 雄	早稲田大	
吉田 義 三	大阪市大	

本人希望による・・・13名  
逝去・・・3名 計27名  
三年会費未納・・・11名

# 費 助 会 員

## 理論・計量経済学会

会社名	担当係	所在地	会社名	担当係	所在地	会社名	担当係	所在地
<del>55年度退会 株式会社神崎組</del>	<del>所長</del>	<del>大阪市東区北浜</del>	<del>大和銀行</del>	<del>調査部長</del>	<del>大阪市東区備後町</del>	住友化学工業株式会社	総務部長	大阪市東区北浜 5-15
<del>54年度退会 株式会社神崎組</del>	<del>所長</del>	<del>大阪市東区北浜</del>	関西電力株式会社	企画調査課	大阪市北区中之島 3-5	住友銀行	総務部	大阪市東区北浜 5
株式会社電通	マーケティング局	東京都中央区築地 1-11	東海銀行	調査部	名古屋市中区錦 3-21-24	日本医師会	総務部長	東京都千代田区神田駿河台 2-5
<del>55年度退会 富士銀行</del>	<del>調査部長</del>	<del>東京都千代田区大手町</del>	日本興業銀行	調査部 資料部	東京都中央区八重洲 5-1-1	電気通信総合研究所	電気通信研究所 研究室長	東京都港区麻布飯倉町 6-13
佐賀銀行	調査部長	佐賀市唐人町 2-7-20	日本南興銀行 設備投資研究所	副所長	東京都千代田区大手町 5-5日経ビル	三菱総合研究所	研究開発部	東京都千代田区有楽町 1-1 日比谷ビル 8階
官崎銀行		官崎市橋通 1-7-4	<del>54年度退会 東京海上火災保険株式会社</del>	<del>総務部長</del>	<del>東京都千代田区丸の内</del>			
小島和銀行	調査部長	東京都千代田区丸の内 1-4	<del>48年度退会 川崎製鉄株式会社</del>	<del>調査部長</del>	<del>東京都千代田区有楽町</del>			
<del>45年度下期より退会 京華銀行</del>	<del>調査部長</del>	<del>東京都千代田区丸の内</del>	<del>54年度退会 三信託銀行</del>	<del>調査部長</del>	<del>東京都千代田区日本橋</del>			
住友信託銀行	調査部長	大阪市東区北浜 5-15	新日本製鉄株式会社	調査部	東京都千代田区大手町 2-6-3			
三菱銀行	調査部	東京都千代田区丸の内 2-5	<del>46.9.30退会 金数ビル</del>	<del>庶務課</del>	<del>大阪市北区橋田</del>			
日本長期信用銀行	調査部長	東京都千代田区大手町 1-1	太陽神戶銀行	調査部長	神戸市生田区浪花 1町 58			
<del>(53年より退会) 東京マセキ株式会社</del>	<del>総務部長</del>	<del>東京都中央区八重洲</del>	<del>50.9.30退会 東製煉株式会社</del>	<del>庶務部長</del>	<del>神戸市灘区新在家南町</del>			
経済団体連合会	調査部長	東京都千代田区大手町 1-5-7	<del>退会中 同和海上火災保険株式会社</del>	<del>本庶務部 庶務課</del>	大阪市北区神田町 6-1			
日本生命保険相互会社	調査部長	大阪市東区今橋 4-7	株式会社大丸	総合企画室	大阪市南区西清水町 16			

(57年10月 8日 現在 21社 25口)

	昭和41年度	昭和42年度	昭和43年度	昭和44年度	昭和45年度	昭和46年度
大会	41.10.22 ~10.23 開学大(生田維雄) 0798-5-3516	42.10.25 ~29 中央大学	43.10. 26~27 大阪大学 委員長 宇野 敏彦 委員 小宮 進 丸野 明弘 新岡 隆一 和田 直夫 伊原 正弘 豊田 信雄	44.10.11 12 一橋大学 委員長 後藤 三代平 委員 中川 伸郎 中井 敏彦 辻村 正太郎 根岸 隆彦 (小宮 隆太郎) 後藤 一 倉林 文也	45.10.17 ~18 広島大学 委員長 橋田 秋一 委員 北川 三郎 三浦 康 三浦 三郎	46.11.13 ~14 東京大学 委員長 馬場 西 委員 青山 彌太郎 村上 西川 今川 天里
会内 大会部						
会内 大会部	41.6.4 名古屋大	42.6.10 神戸大	43.6.8 同志社大	44.5.24 大阪府立大	45.5.29 名古屋大 委員長 岡崎 不二男 委員 渡部 武夫 若尾 森也 伊原 正弘 飯田 正樹	46.5.30 関西学院大 委員長 柴倉 三郎 委員 高田 中 伊原 正弘 伊原 正弘

	昭和47年度	昭和48年度	昭和49年度	昭和50年度	昭和51年度	昭和52年度
大会	47.10. 14~15 京都大学 委員長 新岡 陽一 委員 与野 正雄 岩塚 啓明 熱谷 尚夫 塩野 谷祐一 鳥居 泰秀 山田 浩之	48.10. 20~21 慶応大学 委員長 尾崎 巖 委員 後藤 三代平 新岡 陽一 根岸 隆彦 速水 治郎 後中 基吉 森口 親司 塩田 文雄	49.10. 26~27 名古屋大 委員長 岡崎 不二男 委員 長 泉 治郎 尾崎 巖 時山 和彦 中村 安男 安場 伸吉 坂下 昇 水野 正一	50.11. 15~16 早稲田大学 委員長 伊達 利春 委員 岡崎 不二男 大石 泰秀 沼田 忠一 宮沢 健一 斎藤 行造 小野 浩次	51.10. 30~31 関西大学 委員長 高木 昇 委員 蒲岡 正夫 伊達 利春 飯田 正樹 上野 泰男 鬼塚 雄丞 森口 親司	52.10. 22~23 成蹊大学 委員長 後藤 三代平 委員 高田 正雄 高本 昇 建元 正弘 櫻井 洋 塩田 文雄 藤野 洋
会内 大会部						
西部 大会部	47.6.18 (10) 関西大学 委員長 神保 一郎 委員 佐和 隆夫 久我 秋夫 木下 基夫 森本 博 鈴木 和夫	48.7.5 昭和大学 木村 崇二	49.6.15 京都府立大 委員長 柳川 隆三	50.7.5 神戸大 委員長 林 治一 委員 斎藤 洋生 森口 親司 隈山 昌一 飯田 経夫 林 敏彦 新野 幸次郎	51.6.5 6 山口大学 委員長 宮部 一成 委員 村吉 崇 柴田 利久 中野 崇 新野 幸次郎 中野 修二	52.6.5 大阪大学 委員長 建元 正弘 委員 守部 一成 新塚 光雄 三浦 康 田口 芳弘 青木 昌秀 村浦 一平

	昭和53年度	昭和54年度	昭和55年度	昭和56年度	昭和57年度
大会	53.10. 2~8 同志社大学 委員長 伊藤 史郎 委員 井原 哲也 久我 靖 後藤 三代平 豊田 信雄 一宮 正太郎 塩野 谷祐一 飯田 正樹 山口 親司	54.9. 23~24 東京理科大学 委員長 速水 佑次郎 委員 伊藤 史郎 置地 信雄 石川 経夫 太田 誠 長谷 光明 佐和 隆夫 塩野 谷祐一 新岡 陽一	55.10. 11~12 神戸大 委員長 新野 幸次郎 委員 速水 佑次郎 飯田 秋一 足立 英之 石 弘光 長谷 泰一 高田 道雄 渡田 宏一 森口 親司	56.10. 17~18 横浜国立大 委員長 新飯田 宏 委員 新野 幸次郎 宮沢 健一 貝塚 隆明 坂下 昇 鈴木 興太郎 西川 俊作 林 敏彦 後藤 史郎	57.10. 16~17 京都産業大 委員長 松本 達治 委員 新飯田 宏 内田 忠夫 大根 幹郎 奥野 信次 黒田 昌裕 鈴木 隆夫 豊田 利久 藤 山 昌二
会内 大会部					
西部 大会部	53.7.1 名古屋大 委員長 水野 正一 委員 村岡 安雄 斎藤 洋生 藤村 明彦 建元 正弘	54.6.30 7.1 九州大 委員長 武野 赤樹 委員 木村 哲男 久我 靖 斎藤 光雄 野田 政 北野 正一 小田 昌弘	55. 6.28 和歌山大 委員長 杉浦 一平 委員 新庄 浩二 武野 赤樹 橋本 俊昭 根津 水一	56. 6.20 南山大 委員長 森 茂也 委員 足立 英之 永谷 裕昭 水野 正一 村岡 安雄	57. 6.26 関小大 委員長 野田 政 委員 守部 一成 大根 和雄 神保 一郎 武野 赤樹



## 【機関誌関係】

### ◎ 理事会報告・協議事項

#### 1. 刊行状況の報告 [配布資料4] 『季刊理論経済学』刊行状況

(遅くなりまして申し訳ありませんでした)

なお、機関誌関係の次の2件は、【その他】と【経理】に入れてあります

- \* 機関誌問題検討小委員会答申
- \* 『季刊理論経済学』の値上について

No. /  
Date '82.10.16

「季刊理論経済学」刊行・投稿状況 (1974年～)

1 刊行状況

	論文数	賞与数	書評数	計
才25巻 1～3号 (1974年)	13(5)	7(4)	12(0)	32(9)
才26巻 1～3号 (1975年)	11(4)	9(4)	9(0)	29(8)
才27巻 1～3号 (1976年)	15(6)	7(3)	10(0)	32(9)
才28巻 1～3号 (1977年)	14(7)	17(10)	14(0)	45(17)
才29巻 1～3号 (1978年)	18(8)	10(7)	7(2)	35(17)
才30巻 1～3号 (1979年)	19(10)	6(6)	9(0)	34(16)
才31巻 1～3号 (1980年)	17(10)	9(6)	10	36(16)
才32巻 1～3号 (1981年)	19(13)	7(5)	8	34(18)
才33巻 1～2号 (1982年)	12(6)	4(1)	4	20(7)
才34巻				
才35巻				

- (注) 1. ( ) 内は英文論文数.  
 2. 才28巻1号は 9610-ジ 並2.  
 3. 才29巻3号, 才32巻2号は 英文号  
 4. 会長講演も含む。  
 5. 才3巻(198年)は 1～2号のみ。

## 2. 論文の投稿状況

	投稿論文数	採用論文数	不採用論文数	未決論文数	
1974	62 (29)	34 (16)	28 (13)	0	
1975	38 (20)	17 (7)	21 (13)	0	
1976	43 (25)	25 (16)	18 (9)	0	
1977	43 (21)	11 (6)	32 (15)	0	
1978	73 (39)	37 (21)	36 (18)	0	
1979	53 (31)	15 (8)	37 (23)	1	松沢
1980	50 (32)	19 (14)	29 (17)	2 (1)	本多, 中村
1981	60 (36)	21 (13)	31 (18)	8 (3)	
1982 (10/12 現在)	47 (28)	7 (6)	5 (2)	29 (18)	

(注) 1. ( ) 内は英文論文数.

2. 論文か覚書かは区別していない.

3. 改訂版に入る投稿は計算に入っていない.

4. 未決論文にはレター中のもの, 改訂依頼中のものも含まれる.

3. 投稿者の地域別分類

	総数 (人)	北海道 東北	関東	中部 北陸	関西	中国	四国 九州	在外国	外国人
1974年	66	4	25	7	20	1	0	0	9
1975	45	2	15	2	12	0	1	2	5
1976	45	1	20	4	9	2	1	3	5
1977	46	2	19	6	6	1	0	4	8
1978	80	4	38	10	17	2	1	3	5
1979	64	5	31	4	5	0	1	6	12
1980	62	4	24	1	5	0	1	8	19
1981	70	3	35	3	12	0	0	7	10
1982 112.12.25	49	1	24	2	13	1	0	2	6

NO.4171

(注) 1. 共同論文場合は別々に数えてある。  
2. 投稿者の所属地域。

## 【渉外関係】

### ◎ 理事会報告・協議事項

1. 学術会議からの国際会議代表派遣について  
計量経済学会夏季会議を申請したが、選に洩れた
2. 文部省科学研究費審査委員の件  
57年度第1段審査委員に森口親司氏（京都大）が決定した。任期は57～58年度。  
なお、本年度は、当学会に対して推薦依頼はない由である。
3. 経済科学研究連絡委員の推薦について  
大山道広氏を推薦した。
4. 統計学研究連絡委員会の件  
畠中・黒田両委員より報告があるそうです
5. 日本経済学会連合関係の報告事項  
評議員（根岸・西川）とご連絡のうえ、よろしく申し上げます。
6. その他

【経 理 関 係】

◎ 理事会報告・協議事項

1. 56年度決算報告 [配布資料5] 56年度決算書
2. 58年度予算案審議 [ " 6] 58年度予算案  
[ " 7] 機関誌定価の改訂について  
[ " 8] 収支の推移と見込  
[ " 9] 会費納入状況

配布資料の[5]と[8]に印刷ミスがありましたので、訂正しました。先日お渡しした分はご破棄下さい。

理論・計量経済学会 58年度予算書(案)

自 昭和58年4月1日  
至 昭和59年3月31日

収入の部

(単位：円)

項目	金額	備考
繰越金	6,823,000	57年度より繰越
会費	10,370,000	会費 1,600人×7,000円×85% = 9,520,000円 学生会費 100人×3,500円 = 350,000円 奨助会費 25口×20,000円 = 500,000円
補助金	1,320,000	文部省研究成果刊行費補助金
雑収入	100,000	預金利子
合計	18,613,000	

支出の部

項目	金額	備考
機関誌刊行費	5,887,000	季刊理論経済学 34巻1号・2号・3号 印刷費@ 960円×1800部×3回 = 5,184,000円 原稿料・編集料 83,000円 送料・封筒・ラベル等 620,000円
学会開催費	2,795,000	58年度大会開催費 2,205,000円 名簿・議事録印刷代 120,000円 " 送料 120,000円 東部・西部大会開催費 350,000円
理事会費	830,000	会議費・通信費・印刷費ほか 450,000円 副会長・理事選挙費用 380,000円
学術会議関係会費	150,000	経済学会連合分担金ほか
事務費	3,400,000	事務所費・人件費・通信費・消耗品費
小計	13,062,000	
予備費	200,000	
繰越金	5,351,000	59年度へ繰越
合計	18,613,000	

理論・計量経済学会 56年度決算書

自 昭和56年4月1日  
至 昭和57年3月31日

収入の部

(単位：円)

項目	金額	備考
繰越金	6,340,203	55年度より繰越
会費	10,949,630	55年度 171人 1,191,780円 56年度 1217人 8,485,000円 (学生) 95人 332,500円 53・54・57年度 440,350円 (小計) 10,449,630円 奨助会費 25口 500,000円
補助金	1,290,000	文部省研究成果刊行費補助金
雑収入	112,547	預金利子
合計	18,692,380	

支出の部

項目	金額	備考
機関誌刊行費	4,548,640	季刊理論経済学 32巻1号・2号・3号 印刷費@ 800円×1630部×3回 = 3,912,000円 原稿料・編集料 153,650円 送料・封筒・ラベル等 482,990円
学会開催費	2,096,090	56年度大会開催費 1,749,510円 名簿・議事録印刷代 94,000円 " 送料 62,580円 西部部会大会開催費 190,000円
理事会費	526,530	会議費・通信費・印刷費ほか 306,050円 副会長選挙費用 220,480円
学術会議関係会費	20,000	経済学会連合分担金
事務費	3,100,000	事務所費・人件費・通信費・消耗品費
小計	10,291,260	
繰越金	8,401,120	57年度へ繰越
合計	18,692,380	

昭和五七年八月二五日

『季刊理論経済学』編集委員会 御中

東洋経済新報社

『季刊理論経済学』の刊行につきましては、かねてより御高配を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、今般、同誌刊行諸経費の増嵩による赤字化に対処するため、来たる五八年四月刊行の

第三四巻第一号より、現行定価一〇〇〇円（学会御納入価格八〇〇円）を、定価一二〇〇円

（学会御納入価格九六〇円）に改定いたしたくお願い申し上げます。



(資料1) 『季刊理論経済学』定価値上げ資料(1号当り)

57. 8. 25 東洋経済新報社

項目	現在	値上げ後
定 価	1,000円	1,200円
印 刷 部 数	2,500部	2,500部
売 上 部 数 ( 納 入 )	1,650部	1,650部
〃 ( 市 販 )	700部	700部
収 入 計	1,820,000円	2,190,000円
組 版 ・ 紙 型	973,000円	973,000円
製 版 代	72,000円	72,000円
印 刷 代	99,000円	99,000円
用 紙 代	200,000円	200,000円
製 本 代	106,000円	106,000円
レフェリー料・審評料	180,000円	180,000円
編 集 委 員 手 当		
編 集 校 正 費	400,000円	400,000円
宣 伝 費	180,000円	180,000円
支 出 計	2,210,000円	2,210,000円
差 引	△390,000円	△2,000円

(資料2) 「季刊理論経済学」定価推移

57. 8. 25 東洋経済新報社

年月	巻号	定価	値上げ率	備 考
昭48. 1	23-3	350		16ページ増, 計96ページ
5	24-1	〃		
8	24-2	〃		
49. 1	24-3	500	42%	
5	25-1	〃		
8	25-2	〃		
12	25-3	〃		
50. 4	26-1	〃		
8	26-2	〃		
12	26-3	〃		
51. 4	27-1	700	40%	
8	27-2	〃		
12	27-3	〃		
52. 4	28-1	850	21%	
8	28-2	〃		
12	28-3	〃		
53. 4	29-1	〃		
8	29-2	〃		
54. 1	29-3	〃		
4	30-1	〃		
8	30-2	〃		
12	30-3	〃		
55. 4	31-1	1,000	17%	
8	31-2	〃		
12	31-3	〃		
56. 4	32-1	〃		
8	32-2	〃		
12	32-3	〃		
57. 4	33-1	〃		
8	33-2	〃		
12	33-3	〃		
58. 4	34-1	1,200	20%	

年 度	54 年 度		55 年 度		56 年 度		57 年 度 見 込		58 年 度 予 算 案	
会員数 (うち学生会員)	1,430人 (90)		1,490人 (87)		1,552人 (95)		1,620人 (100)		1,700人 (100)	
会 費	6,000 円		7,000 円		7,000 円		7,000 円		7,000 円	
収 入 の 部	千円	円/人	千円	円/人	千円	円/人	千円	円/人	千円	円/人
会 費	9,054		9,341		10,450		9,454		9,870	
賛 助 会 費	540		520		500		500		500	
刊行費補助金	1,110		1,300		1,290		1,320		1,320	
雑 収 入	130		84		112		100		100	
合 計	10,834	7,576	11,245	7,547	12,352	7,959	11,374	7,021	11,790	6,935
支 出 の 部										
刊 行 費	3,577	2,501	4,289	2,879	4,549	2,931	4,753	2,934	5,887	3,463
買上価格 (市価) 円	@ 680 ( 850)		@ 800 (1,000)		@ 800 (1,000)		@ 800 (1,000)		@ 960 (1,200)	
印 刷 費	3,101		3,768		3,912		4,080		5,184	
原稿料・編集料	99		85		154		83		83	
送 料	276		302		409		420		450	
封筒代	101		134		74		170		170	
学会開催費	1,639	1,146	2,714	1,821	2,096	1,351	3,909	2,413	2,795	1,644
大会開催費	1,353		1,460		1,749		1,972		2,205	
(案内・出欠ハガキ)	(163)		(188)		(209)		(321)		(355)	
(プログラム, 要旨印刷)	(554)		(679)		(654)		(785)		(850)	
(全 上 送 料)	(108)		(126)		(213)		(220)		(250)	
(その他諸経費)	(310)		(317)		(523)		(481)		(550)	
(開催校経費)	(218)		(150)		(150)		(165)		(200)	
名簿印刷代	28		609		38		780		50	
議事録印刷代	39		48		56		60		70	
名簿・議事録送料	99		457		63		778		120	
部会開催費	120		140		190		319		350	
運 営 費	385	269	597	401	546	352	790	488	980	576
学術会議関係等	20		20		20		150		150	
理 事 会	251		250		306		420		450	
選 挙 費 用	114		* 327		220		220		* 380	
事 務 費	2,562	1,792	2,741	1,839	3,100	1,997	3,300	2,037	3,400	2,000
合 計	8,163	5,708	10,341	6,940	10,291	6,631	12,752	7,872	13,062	7,683
差 引	2,671		904		2,061		△1,378		△1,272	
前年度からの繰越金	2,765		5,436		6,340		8,401		6,823	
予 備 費							200		200	
翌年度への繰越金	5,436		6,340		8,401		6,823		5,351	

\* 理事改選費用を含む

会費納入状況

(57.10.5現在)

年度	会員数 (人)	納入者 (人)	未納者 (人)	納入率		備考
				当該年度末	現在	
49	1,129	1,103	26	780人 69	98	@3,000
50	1,196	1,182	14	1001人 84	99	@4,000
51	1,269	1,239	30	1100人 87	98	@5,000
52	1,319	1,272	47	898人 68	96	@5,000
53	1,382	1,355	27	1028人 74	98	@6,000
54	1,430	1,396	34	1,199人 84	98	@6,000
55	1,490	1,407	83	1,209人 81	94	@7,000
56	1,552	1,366	186	1,314 85	88	@7,000
57	1,620 (見込)	715	-	-	44	@7,000

1982年10月16日

理論・計量経済学会  
会長 内田 忠 夫 殿

1982 理事会  
資料

1981年学会開催の折りの理事会の決定により、前会長より検討を依頼されました  
機関誌問題に関し、小委員会の審議結果を答申いたします。

### 機関誌問題検討小委員会答申

#### 1. 編集者の選任

現行方式を次のように改める。

- ① 編集者の任期は3年とする。理事改選時（3年ごと）に、現常任理事（6名）、現編集者（3名）、前会長、現会長、現副会長のメンバーにより、編集の継続性も考慮して、次期（3ヶ年）の編集者3名を選び、そのうちから常任理事となるものを1名決めて、これを理事会に諮ったうえで、総会の承認を求める。
- ② 経過措置として、現編集者の任期は1984年4月までとする。
- ③ やむをえない事情により、編集者が任期中に辞任するときは、①に準じて新編集者を選任する。新編集者の任期は辞任する編集者の残任期間とする。

#### 2. 機関誌の季刊化

機関誌の季刊化を阻んでいる要因は第1に投稿が不活発なことであり、第2に編集者の権限上の制約、第3には財政負担の増大であるが、次のような改革を通じて、季刊化を図ることが望ましい。

- ① 編集者は若干名の編集協力者を委嘱しうるものとする。編集協力者の任期は3年とする。その間、編集協力者は編集作業を助け、投稿論文を質・量ともに確保すべく尽力するものとする。
- ② 編集者の裁量判断によって、適当な筆者に対して論文執筆を依頼することができるものとする。これによって、展望論文の掲載、特集あるいは誌上シンポジウム等の企画が容易になる。ただし、依頼論文の質の確保については、編集者が責任をもつものとする。
- ③ 第4号には②による論文および大会プロシーディングス（会長講演を含む）を掲載するものとする。
- ④ 以上のことにより必要となる費用負担増加については、編集者手当の増額も含めて、学会において財政措置を講ずるものとする。
- ⑤ レフェリングについては、誌上に採否決定期間を明記し、レフェリーに期日内報告を要請する一方、場合によっては編集者の判断で当該論文の採否を決めるようにする。

#### 3. 学術刊行物助成金の継続について

従来、誌名の変更は助成金の交付に際して問題が生ずるとされてきたが、文部省の担当課（学術国際局情報図書館課）に問い合わせたところ、誌名変更により助成金の継続が難しくなることはないとのことであった。また、当会機関誌は欧文刊行物として申請受理されていることを確認した。

#### 機関誌問題検討小委員会

委員長	藤野正三郎
委員	天野明弘
	奥野正寛
	西川俊作
	林敏彦

1982(1557)  
4/17

4月7日

理論計量経済学会常任理事各位

新学期となりましたが、皆様お元気のことと思います。  
さて、小生は東部常任理事総務をつとめておりましたが、  
学内で院生との交渉委員長に任じられる等の事情があて、  
総務の役を根岸隆氏(東大)に代っていただくことと  
お願いいたしました。

正式には、(一昨年の秋の理事会で村上泰亮氏から小生が  
引受けたごとく) 理事会で了承いただくべきところですが、  
とりあえず常任理事の方に お知らせ 申し上げます次第です。

なにとぞ よろしく お願い 申し上げます。

後田 宏一

cc : 56年度 宮沢会長

57年度 内田会長 小宮副会長

統計研究会 平松様

前略、昨日(11月18日)12時30分より2時00分まで、中国社会科学院訪日代表团歓迎懇談会が神田学士会館にて日本経済学会連合の主催で開催された。私は理論・計量経済学会の一員として出席した。以下、簡単な報告申上げたい。

出席者は同会のアレックス氏以下、中国側劉国光氏(団長)以下7名と日本側斎藤善雄理事長以下9名で、懇談の内容は中国の経済事情、日本の経済学研究会の情勢、近況と成長率、日本経済の現状等であり、特に日本の高度成長が今後可能かどうかの点に大いに中心が置かれた。

席上、中国側団長の劉国光氏より斎藤理事長に記念品として、本が二冊贈呈された。その一冊は中国の「経済統計表」であり、これは拙著から採り集めた貴重な資料であり、中国政府部門に公表されたものである。

非常に端的ながら興味深い話題が多く、短時間にもかかわらず有意義な会談であった。

以上、簡単な報告申上げたい。

理論・計量経済学会 会長 庵原

日本経済学会 連合評議員

相谷 維

(専修大学経済学部教授)

1982年 11月 19日

中国社会科学院訪日代表团  
 歡迎懇談会出席者名簿

(1982.11.18)  
 日本経済学会連合

氏名	所属機関, 職名
理事長 安藤 良雄	成城大学学長 日本学術会議副会長 社会経済史学会
事務局長 白石 孝	慶應義塾大学教授 国際経済学会
理事 岩尾 裕純	中央大学教授 日本経営学会
" 金子 ハルオ	都立大学教授 日本学術会議 第三部 経済学史学会
監事 染谷 恭次郎	早稲田大学教授 日本学術会議 第三部 日本会計研究学会
顧問 山本 登	創価大学教授 国際経済学会
評議員 尾上 悦三	アジア経済研究所 調査研究部長 アジア政経学会
(代) " 山本 弘文	法政大学教授 社会経済史学会
(欠) " 藤井 隆	名古屋大学教授 日本経済政策学会
" 桐谷 維	都立大学教授 理論, 計量経済学会
" 早坂 忠	東京大学教授 経済学史学会

中国社会科学院訪日代表团名簿  
 (昭和57年11月16日~11月30日)

副 長	刘 国 光	中国社会科学院副院長、研究員 1923年10月16日生 (経済学)
秘書長	王 剛	同院外事局副局長 1926年1月24日生
団 員	邢 賈 思	同院哲学研究所々長、研究員 1929年11月7日生 (マルクス哲学)
"	葉 水 夫	同院外國文学研究所々長、研究員 1920年4月18日生 (ロシア文学)
"	汪 敬 虞	同院經濟研究所研究員 1917年7月1日生 (経済学)
"	高 增 傑	同院日本研究所助理研究員 1944年12月9日生 (日本語研究)
"	周 斌	同院日本研究所副研究員 東京大学社会科学研究所客員研究員

昭和57年11月20日

理 事 各 位

理論・計量経済学会  
常任理事会

アンケートのお願い

10月16、17日におこなわれました当学会理事会および総会の協議にもとずき、理事各位に次の2点についてアンケートをお願いいたします。ご多忙のところ恐縮ですが、同封の用紙にて 12月10日 までに学会事務局宛ご意見をお知らせ下さい。

\* \* \* \* \*

アンケート1： 機関誌季刊化について

すでにお送りいたしました機関誌問題小委員会答申のうち、編集者の選任につきましては10月16日、17日の理事会、総会で承認されましたが、機関誌の季刊化につきましては継続審議となり、常任理事に取扱いが一任されました。それで、機関誌季刊化につきまして、賛成、反対（その理由）、その他のご意見をお知らせいただきたくお願い申し上げます。



氏名

---

1. 機関誌季刊化について

2. 学術会議統計学研究連絡委員会への対応について

3.